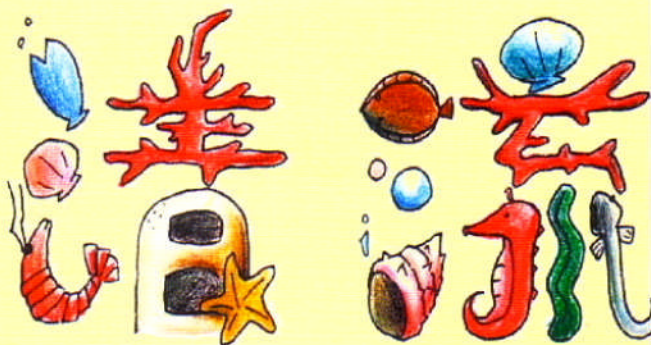




和 協力する人
魂 自主性のある人
行 進んで行く人



137号

発行：三和中学校PTA

編集：広報委員会

印刷：(株)キョクトー

おはよう・笑顔・ありがとう



校長 河野 裕二

ピッチピッチ、チャップチャップ、ランランラン

雨が多い季節になりました。梅雨の時期になると決まっています。朝起きるとすぐに耳を澄ますのです。静かに外の音を聴きます。さて、今日は残念ながら、かなり強い雨の音です。昨晚から覚悟はできていたのですが、でも、やはり少しおっくうな気持ちになります。自転車通勤の私にとって、雨の日の通勤は大変なのです。自転車はもちろん私の友人なのですが、カッパも私の友人の一人なのです。今日はこれからカッパをかぶり、三和中までゆっくりゆっくり通勤です。そして、自転車をこぎながらいつも思い出すことがあります。雨が降るのが楽しかった頃の事です。

私には祖母がいました。私は三人兄弟ですが、弟と一つ違いで、弟が誕生してから、母はどちらかという弟、私は、いわゆるおばあちゃん子で育ちました。小学生の低学年まで私は祖母のいる部屋で祖母と二人で寝ていたという記憶があります。その祖母はとても私に優しく厳しく接してくれ、よく怒られもしましたが、世の中で一番私を褒めて育ててくれた人でもありました。今はすでに亡くなってしまいましたが、祖母ゆかりのタンスの中には、私が幼少の頃からの賞状類がずっと保管されていました。祖母はいつもそれを大切にしていた、大学生の頃、里帰りするといつもタンスからそれを出してきて、とても懐かしそうに、これはあの時のと言って、その場で再び私を褒めてくれたものです。祖母に上手に褒められたからこそ、私は頑張れたのだらうなと思っています。

その祖母は、雨の日に亡くなりました。傘をさして、地域の火葬場へ祖母を運ぶ時、私の脳裏に焼きついてた光景がよみがえってきました。「ピッチピッチチャップチャップランランラン」でした。小学生の時、祖母は途中から雨が降り出すと決まって私たち三人兄弟のために傘を持って学校に来てくれました。幼い私は、たまに雨が降ると、祖母が持ってきてくれた傘をさし、祖母と一緒に家まで帰ることを楽しみにしていたのです。そして、その時はいつも道すがら「ゆうちゃんは、ようがんばりんさるのう」と言って私を褒めてくれるのです。祖母は、11月11日、雨の日に静かに亡くなりました。きっと、私と一緒に「ピッチピッチチャップチャップランランラン」と手をつないで帰っている夢をみてくれたのだと、私はずっとそう思っています。おばあちゃん、私を褒めて育ててくれてありがとう。

平成22年度PTA会長の宮本隆です。

三和中PTAに携わって3年目となります。最後の年に会長という大役を務めさせていただきますが1年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさんはPTA活動に参加していますか?「忙しい」とか「時間がない」とか「仕事をしている」などの理由で活動を躊躇してはいませんか?・・・私もそのうちの一人でした。しかし我が子が中学に入学した時に役員を引き受け、はじめて本気でPTA活動に参加しました。今では、妻よりも私の方が学校の様子や先生のことに詳しくなっています。

今の子ども達は体格、美しさ、たくましさは大人と一緒にです。外面で判断し大人と同じようであっても内面、精神面では非常に繊細で心が揺れ動いています。ご家庭で子どもとしっかりコミュニケーションを図っておくことで、子どもからのサインに早く気づくことができるのではないのでしょうか。PTA活動は子どもたちにとってよりよい成長の場を作る活動であり、子どもとの共通の話題を収集できる場所だと思っています。是非みなさんもPTA活動に参加してみたいかがでしょうか。

子どもたちにとって良いと思われることを一緒に考えて実行できる様、一生懸命やらさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



PTA会長 宮本 隆